



—目次—

1. 新体制スタート
2. 2016年度楽友会総会報告
3. 会員だより
4. 鼻笛・指笛愛好者との心交

1. 新体制スタート

「指笛楽友会会長として」

中村倫二

指笛楽友会会員の皆様、明けましておめでとうございます。

平成28年1月11日、指笛楽友会総会で前会長・斎藤秀元氏の後を継承することと成りました、中村倫二です。(4月で75歳)

平成25年1月25日、田村大三先生の門を叩いて満24年目を迎えました。

斎藤氏とは、ほぼ同一時期から共に指笛を吹き始めて現在に至っております。副会長として共にやって参りましたが、会長職ともなると何とも心もと無い私ですが、皆々様の御指導、御支援を戴き乍ら素晴らしい指笛技術を、継承、発展すべく、精一杯の力を注ぐ所存であります。

楽友会会員の皆様も高齢となり、会員数も減少しつつあります。若い世代の発掘と、さらなる演奏技術を高め、指笛の音色(ねいろ)を世に認めさせるべく勉強しようではありませんか。

「会長離任のご挨拶」

斎藤秀元

年が明け本年6月には傘寿(80歳)を迎える歳となりました。喜寿(77歳)で他界した父の年齢を超えて活動できたことは嬉しいことです。しかし大切な会の舵取りをすることが身心の変化により、怪しくなっていました。よって本年の総会において辞退させていただきました。

1998年(平成10年)以来会の会長職・事務局を担当いたしました。力不足だったことをお詫びいたしますとともに、会員の皆様から温かいご指導・ご鞭撻をいただきましたことを厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

尚、後任には楽友会会員中最も音楽に精通し、指笛音楽の実力にも長けている前副会長の中村倫二氏が担ってくださることになり、指笛音楽の充実発展にとって喜ばしいことと安堵いたしております。ご支援ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

<2016 年度指笛楽友会・役員>

会 長 中村倫二

副会長 有賀 猛 中澤宏則

事務局 有吉憲行

会 計 河津菊枝

役 員 奥津恭子 藤好清晴 片山陽一 藤好真也 中澤 忍 植松久美子

監 査 武井洋子

顧 問 齋藤秀元

どうぞよろしく願いいたします。

2. 2016 年度楽友会総会報告

議事 2015 年度事業報告

2015 年度会計報告と同会計監査報告

2016 年度事業計画案の承認の件

2016 年度予算案の承認の件

役員改選の件

<2015 年度事業報告>

- (1) 2015 年 1 月 12 日 (月) 2015 年度総会・新年会の開催 (於 Uスタジオ)
- (2) 6 月 25 日 (木) 「第 5 回みんなのおんがくかい」(NPO 法人 健生会主催)
8 名で 5 回連続出演 (於 練馬区生涯学習センターホール)。男女それぞれ揃いの衣装で 10 曲演奏。定員 300 名の会場がほぼ満席。
- (3) 7 月 12 日 (日) 「第 41 回善意の輪をひろげようチャリティーショー」(東京善意銀行友の会主催) 田村静海先生と会員 8 名が参加。中村倫二氏のエーデルワイス、リサーチ合奏団との合同演奏は「上向いて歩こう」。(於 新宿三井ビル 55 広場)
- (4) 9 月 19 日 (土) 「指笛音楽 81 周年記念コンサート (研究発表会)」(指笛楽友会主催) 400 名近い入場者。詳細は前通信 No. 63 を参照。(於 練馬区立文化センター・小ホール) 今回も記録 DVD をボランティアのご協力により全会員に贈呈。
- (5) 10 月 18 日 (日) 「第 38 回練馬まつり」MMC (指笛・草笛・口笛) との合同で

13名参加。上を向いて歩こう、さんぽ、鉄腕アトム、草競馬、故郷、村の娘を演奏。練馬区の大イベントで大変な人出。(豊島園)

(6) 25の会(指笛練習と役員会)於スタジオ

(特記事項) 3月22日 「日本指笛協会」商標登録について経過報告。

5月25日 この日を「指笛の日」として野外での演奏をしようと、提案があり、光が丘公園で実現。11名参加。

(7) 81周年記念コンサート練習 6/20 7/26 (静海先生榛名から参加)
8/29 (静海先生、16名参加) 9/3

(8) 楽友会通信発行 60号(2月) 61号(5月) 62号(8月) 63号(12月)

(9) 年賀状は通信の充実を目指すこととして廃止。

<2016年度事業計画>

(1) 2016年度総会及び新年会の開催;1月11日 10~12時 役員会

12時半~15時 総会・新年会(於勤労福祉会館「かど36」)

(2) 指笛音楽82周年記念コンサート(研究発表会)の開催;12月11日(日)

13時開演。9時(準備)から17時(退出完了)まで。練馬区立文化センター小ホール。創意工夫して、変化に富んだ内容の構成に努める。

(3) 25の会の充実

会員同士の親睦・融和を図るとともに互いに練習に励む。情報交換を密にし、指笛音楽の普及・発展を目指す。スタジオが使用できなくなったため、当面勤労福祉会館(練馬区大泉学園、抽選による)などで不規則開催となる。定期開催できる会場を探すと共に、新会員の勧誘ときめ細かい指導を心がける。

(4) 各種演奏会・ボランティア活動に出演

「木馬亭」(浅草)出演 3月27日(日)

「第42回善意の輪を広げようチャリティーショー」(東京善意銀行友の会)
7月3日開催日の予定

「第6回みんなのおんがくかい」(練馬区内6団体)5月7日(土)、練馬区立生涯学習センター

「指笛の日」記念野外演奏 5月25日(水)光が丘公園

「あかね音楽交流フェスティバル」(障害者自立)8月14日(日)

「練馬まつり」(第39回)10月16日(日)豊島園

(5) 課題

「指笛音楽コンクール」検討委員会を設置し、開催実施の可能性など試案を検討する。(「日本指笛協会」主催)

「新会員の受入体制・育成システム」を充実し、さまざまなツールによる

広報活動などで、子どもたちや若い人たちへの呼びかけに努める。

(6) 楽友会通信 4 回発行

2 月 (中澤宏) 5 月 (植松) 8 月 (有賀) 12 月 (有吉)

3. 会員だより

<村山壮人さん>より

“すぐそこ新座”春まつりへの参加

平成28年4月2日(土) 午前(A)、午後(B) 3日(日) 午前(C) 午後(D)

午前10時から午後3時まで

雨天にかかわらず実施(ただ荒天時は中止)

場 所 新座市総合運動場(新座市本多2-8-16)

武蔵野線新座駅から会場まで無料シャトルバス運行(往復)

5月17日(火) 13:30~15:30

指笛演奏と指導(地域の人々の自由講座5回のうちの1回)

場 所 野火止公民館(新座市野火止6-1-48)

*問合せ・連絡先

村山壮人

<船上の Mausフルーチスト・河津菊枝さん>(ピースボート船室7002)より

新年あけましておめでとうございます!!

皆様に御迷惑をおかけし失礼しております。今、船はモルディブからモーリシャス・南アへ向かっております。

8年前と比べ船酔いに風邪と体調は今ひとつですが、指笛の方はクリスマス会、新春かくし芸大会で吹かせて頂いたせいでしょうか?好奇心旺盛の60代70代が多いせいか、週1の教室に40~50人集り、ネズミ音楽と間違えて来た方もふくめ、ビニール草笛は全員、指笛も1回目2回目と音が出て、「先生のように音階ができない」「曲にならない」と騒がしく、「私は26年かかっているの!!」と言っています。明日はもう夏祭りなので教わるつもりですが、仕方なく和太鼓を教え、疲れ気味です。でも旅の終りには、楽友会の会員を増やそうと思っています。

(2016. 1. 9付FAX)

4. 鼻笛・指笛愛好者との心交

<とてもうれしい指笛の出会い 西谷幸子さんと斎藤秀元さん>

本年のお正月、年賀状の中に一通の手紙が混じていました。封筒の差出人の名前は

西谷幸子様、住所は三重県多気郡多気町仁田となっています。はて、どなただろう？名前の文字は見たことがあるような気がするが、友人・知人の記憶をたどったが思い出せませんでした。開封するしかないと思を決して開けてみましたら、美しい文字の下記の手紙が出てきました。

1年ほど前に電話をくださって指笛の話をした時に、田村大三先生のCDを2枚とも注文してくださった方でした。その時、私がミスしないように住所・氏名・電話・FAXを書いてご注文くださいとお願いしました。その時のFAXの堂々とした文字が印象に残っていたのでした。(斎藤)

<西谷幸子さんから斎藤秀元さんへ>

昨年は指笛についていろいろと教えていただきありがとうございました。おかげさまでますますの演奏ができるようになってきました。

毎年鼻笛の仲間では、12月末に津市の四天王寺という寺で、「鼻笛で第九を演奏する」催しがあります。今までは鼻笛で参加でしたが、昨年は「おもしろ楽器の部」(いろいろかわった演奏で、スコップ三味線、のこぎり、テルミン、ウオッシュボードなどを演奏される方々がいる)で指笛を吹かせていただきました。

演奏会が終りまして帰る時、山口県から来てみえる方(鼻笛作家さんで素晴らしい笛を作っておられる方です)が指笛はとてがかっこういい。ぜひ吹き方を教えてほしいと言われましたので、私の今までの指笛の中で知り得たことを話し、あきらめないことが一番大切だと思いと伝えました。彼は「1年かかってきつと吹けるようになり、次回の第九演奏会で吹いてみたい」と言われました。とてもうれしい指笛の出合いでした。

私は左手の人さし指で吹いています。今、右手でも同じように吹けるようになりたいと、日々練習しています。低音、より低い音がむずかしい。又高音もやわらかな高音にするのはむずかしいなと思います。パソコンで指笛の会の皆様の演奏を拝見し、勉強しています。

鼻笛は、鼻笛がないと吹けませんし、よい楽器なりのよい笛に出合うことが求められますが、指笛は口笛と同じで、楽器いらずのところがとても素晴らしいと思います。

指笛の会の皆様にたくさんの幸せがありますように。

まずは指笛の報告まで。

<斎藤秀元さんから西谷幸子さんへ>

拝啓、新年早々にうれしいお便りを頂きまして誠にありがとうございました。読ませて頂いた私も心躍るような喜びを感じました。

指笛で音が出るようになりましたという報告を飛び越して、メロディーを演奏、しかも鼻笛の方々と第九を演奏なさったようで大変驚きました。西谷さんとはお目にかかったことがございませんが、どういとお方なのかなど、知りたくなりました。音楽の素養が豊かで、何か楽器を演奏されたりしていらっしゃるのでしょうか。

私は小学生の頃にハーモニカを吹いていただけで、定年間際に指笛と草笛をはじめたものですから、音楽の基礎も乏しくハーモニカの探り吹きのような感覚で演奏しているしだいです。それ故、西谷さんの進歩・上達振りに驚きました。ますますのご精進を祈念いたします。(後略)

<西谷幸子さんから斎藤秀元さんへ>

気まぐれに出しました手紙、返事をいただけるとは思っておりませんでしたので、うれしく読みました。(中略)

私は音楽は大好きですが知識は全くありません。あるのは「これを自分もやってみたい。」という「欲」だけです。口笛、鼻笛、指笛は、ああでもない、こうでもないと悩みながら、手にしたものです。それを人様に伝えさせていただけるチャンスにめぐまれた時、心が躍ります。

電話で会話したときに、西谷様が「指笛をやってみたいと思った動機」は田村大三先生のCDを聴いたことだと、おっしゃいました。それにUチューブでメミグレース先生や中村倫二さんなどの指笛を聴いて参考にいらいらっしゃるとのことでした。練習場所は畑とのことでした。(斎藤)

<編集後記> この2月号は、楽友会の新体制によるスタートをお知らせすることとなりました。会員の皆さまのますますのお働きとご協力によってさらに盛りたててくださることを切に願っております。

西谷さんと斎藤さんとの親しい心交に、西谷さんの日々あくなき工夫と練習、その情熱に、胸底からの感動を覚えました。

この通信をさらに楽しい交流の場にしてゆきたいと、思っておりますので、会員の皆さまの日頃の活動や心交、ご意見・エピソードなどを事務局宛お寄せくださいますよう、お願いします。(中澤)

事務局 有吉憲行

194-0013 町田市原町田2-33-9